

総合ゼミナール（２０２６年度Ver.）

【概要】 ２０２６年度Ver. は昨年度の総合ゼミナールとは、内容的に大きく異なります。「人間理解」を全体テーマとすることは同じですが、昨年度はあくまでも一つひとつの事例の中で見られる一つひとつの情報に対してさまざまな角度から検討を加えること、また、その情報に対して”仮説”を立て”検証”するというプロセスを通して、対象者とそのおかれている環境との相互作用、交互作用の理解を深めることに力点を置きました。２０２６年度は、それをさらに一歩先に進め、ロールプレイを通してコミュニケーションスキルを１ランクステップアップさせること、また、それによって”仮説”を効果的に”検証する”ためのスキルを修得することを目指します。そのため、受講者のみなさんの”経験知”をも踏まえてさまざまな検討を加えていってもらえればと思います。また、そもそも一つひとつの事例に対する”正解”というものはないということを前提にして検討をしていきますので、恐れることなく、講師を驚かせるような発想をもって積極的に参加してください。

【対象】 検討のプロセスを通して自らの価値観やバイアス（考え方やとらえ方などの偏りなど）に気づくこと（自己覚知）を図っていきますので、肩ひじ張らず、また、受け身にならずに取り組んでみようと思われる方には是非とも受講して頂きたいと思います。また、相手の方に最善の利益をもたらすため、頑なにしがみついているプライドをかなぐり捨てて取り組んでみようと思う専門職の方の受講はさらに大歓迎します。

【本講座を受講することで獲得を目指す知識・技能等】
コミュニケーションスキルを１ランクステップアップさせること、また、それによって”仮説”を効果的に”検証する”ためのスキルを修得することを目指します。

【講師】 吉川 眞（広島国際大学 客員教授）

【定員】 １０名

会場：東広島キャンパス

日時		内容
全 1 0 回		総合ゼミナールで取り上げる予定の事例（一部）
		・認知症高齢者の介護
		・統合失調症患者とその家族
	5月9日（土）	・アルコール依存の夫を抱えたがん患者
	5月30日（土）	・幼児虐待の疑いのある親
	6月6日（土）	・家族崩壊の危機を心配するがん患者
	6月27日（土）	・兄の突然の入院で妙におとなしくなった幼い弟
	7月4日（土）	・自らのところに素直になれないがん末期の患者
	7月25日（土）	・難病を発症した弟に降ってわいたように突然関わらざるを得なくなった兄夫婦
	8月1日（土）	・夫に病名告知を望むも医療者や義理の両親から拒まれる妻 など
	8月29日（土）	
	9月5日（土）	
	9月26日（土） 10:00～12:00	

- 【留意事項】
- ・開講日は月2回 全10回 （東広島キャンパス10:00～12：00）での開講を予定しております。
 - ・8割以上（8回/10回）講座に出席された方には、修了証を発行いたします。